

地域学校協働活動事業訪問

【第3回大玉村民俗芸能大会】

訪問日：令和2年2月11日（火・祝）

場 所：大玉村農村環境改善センター

内 容：神原田神社十二神楽（大山小学校4年生）
本揃田植え踊り（玉井小学校5年生）



2月11日（火・祝）に、「大玉村民俗芸能大会」が行われました。この大会は、3年に1度開催され、村内に昔から伝わる民俗芸能を広く紹介しています。大玉村内の小学校児童も出演し、総合的な学習の時間の一環として、地区の保存会の方々から教わってきた神楽や田植え踊りを披露しました。地域の伝統や文化を引き継ごうとしている子どもたちの演技に、会場からは、温かい眼差しとたくさんの拍手が送られていました。



【参加した子どもたちの感想】

- はじめは難しかったけれど、保存会の皆さんや先生のおかげで、できるようになりました。発表することだけでなく、伝統を引き継いだことがよかったと思います。
- 300年以上引き継いできたことが素晴らしいと思います。自分も、保存会に入って、伝統文化を守っていききたいです。
- （民俗芸能を）今日まで受け継ぐには、大変なこともあったと思います。でも、伝統を引き継いで守り抜いてきたことは、とてもすごいことだと思います。これまでの歴史を実感しました。
- たくさんの人を通して、受け継がれてきたので、これからもずっと続いていくといいなと思います。大玉村が誇れる文化だと思うので、もっとたくさんの人に知ってもらいたいという思いで発表しました。



ステージ上では、自分たちの学びを地域のために還元していこうとする子どもたちの頼もしい姿が見られました。

今回の一連の学習で、地域の伝統や文化の素晴らしさを実感するとともに、地域への愛着や感謝の気持ちなど、目に見えない大切なものが育まれていると感じました。